



OSAKA JAPAN

SUITA ESAKA ROTARY CLUB

CLUB WEEKLY BULLETIN

創立年月日/1990.2.27
事務所/〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号(大同生命江坂ビル12F)
TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0206 E-mail:esaka-rc@lake.ocn.ne.jp

例会場/新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109 例会日/毎週火曜日 12:30~13:30
会長:八橋志夫 幹事:木元良三 会報委員長:飛田昭男

◇ 2008年10月28日 第883回例会(第882号) ◇

☺ 本日の例会 ☺

今週の歌 「日も風も星も」

クラブフォーラム

「関西大学RAC設立について」

関西大学RAC設立準備委員会

西上博幸 委員長

前回〔10月21日〕例会記録

来客

横山守雄君 (RI第2660地区ガバナー)

大西麻容さん

(RI第2660地区ガバナー事務所)

会長の時間

八橋 会長

本日は国際ロータリー第2660地区 横山守雄ガバナーの公式訪問日であります。

先程より別室にて横山ガバナーより貴重なご意見を頂戴致しました。まことに意義ある懇談会の場を提供して頂きましたことを感謝したいと思います。会員の皆様には追々ガバナーのお考えをお伝えしたいと思っております。

またこの後卓話を頂戴いたしますがよろしく御願ひ致します。

横山ガバナーにおかれましては健康に留意され今後の公式訪問が無事終わられることを祈念申し上げます。本日はありがとう御座いました。

出席報告

山崎 委員長

【10月21日】

在籍会員 41名 (内出席規定適用免除者 10名)

出席会員 37名 (内出席規定適用免除者 9名)

ホームクラブ出席率 92.50%

9月30日のMUを含む出席率 100%

☺ 次回例会のお知らせ(11月11日) ☺

卓話 「ロータリー財団月間に因んで」

西上博幸 奉仕活動副委員長

「会員増強フォーラム」

田中茂晴 広報委員長

幹事報告 木元 幹事

◎地区大会の参加申込書未提出の方は、出来るだけ早めに事務局へ提出して下さい。提出期限は次回例会日まで厳守下さい。

第1日目:12月12日(金)

「分科会」「家族の集い」「晩餐会」

第2日目:12月13日(土)

「本会議」「佐藤しのぶソプラノリサイタル」

ニコニコ箱

- 東 会員 横山ガバナーをお迎えして。
 - 今 村 会員 横山ガバナーをお迎えして。
 - 木 元 会員 横山ガバナーをお迎えして。
 - 米 谷 会員 結婚して65年重ね一つ心に結ばれる。何も色々言はなくても相通ずる今日この頃です。結婚記念日お祝い有難うございました。
 - 長 澤 会員 横山ガバナーをお迎えして。
 - 西 上 会員 横山ガバナーをお迎えして。
 - 杉 本 会員 横山ガバナーをお迎えして。
 - 寺 井 会員 横山ガバナーをお迎えして。
 - 和 田 会員 横山ガバナーをお迎えして。
 - 八 橋 会員 横山ガバナーをお迎えして。
- 本日分 60,000円 累計 536,000円

奉仕活動委員会

速見 委員

(米山担当)

本日、米山奨学会特別寄付金を頂いた方は13名、合計195,000円でした。ありがとうございました。

「公式訪問に際して」

国際ロータリー第2660地区

横山守雄 ガバナー



D. K. Lee RI 会長が発表されました本年度の活動テーマは「Make Dreams Real」、「夢をかたちに」です。ロータリアンは与えられたロータリーの職務に対し、或いは様々なロータリー活動に対し、夢や目標をもっています。D. K. Leeさんは、皆様のそれぞれの夢をかたちにしてくださいと提唱されました。そして本年度は特に「子供たちへ光があたる」奉仕活動に取り組んでくださいと要請されました。

今、地球上で毎日3万人近い子供たちが命を落としています。私達ロータリアンはこれまで培ってきた、水保全、保健と飢餓救済、識字率向上といった奉仕活動の経験やノウハウを通じて、子供たちの死亡率を低下させる奉仕プロジェクトに取り組むことが出来ます。先進国においても交通事故や危険な遊び場、いじめなどで死んでゆく子供たちがいます。ロータリアンの皆様に子供たちを無駄な死から守っていただきたいのです。

またD. K. Leeさんは「世界のロータリアンが120万人で取り組むよりも、130万人で取り組んだ方がより多くの成果を地球上に齎すことが出来ます。各クラブの会員数が年々純増して行くように会員増強に各クラブで積極的に取り組んでください」と要請されました。

私は当地区の重点活動項目として、次の3項目をあげました。

1. 職業倫理の向上

ロータリアンは自分自身の職業を通じて、世の中の人々のために貢献して行くことが第一義的な責務となっています。私達は常に己を磨き、

職業倫理の向上へ日々努めて行く必要があります。会員の皆様が「四つのテスト」を社会で、職場で、家庭で、そしてロータリークラブで実践されることを願っております。それによってロータリーの発展も齎されます。

2. クラブ活性化プラン、CLPの推進

ロータリーの新世紀はCLPの採用で各クラブの形態や活動が多様化して行きます。クラブ運営や活動に魅力のあるクラブには、より多くの会員が集まり、魅力のないクラブは衰退して行くことになるでしょう。クラブの将来計画と目標をしっかりと立て是非「世界に一つしかないクラブ」作りを目指してください。

3. クラブ及び地区活動の合理化

当地区の会員数と収入がここ10数年の間に30%減少しております。地区及びクラブの活動は収入に見合ったものと常に見直しが必要です。ロータリー活動は企業同様に時代の変化に応じた「スクラップ&ビルド」でなければ行き詰まってしまう。

ロータリー財団は本年度の重点活動項目として5項目あげておりますが、その中で「ポリオ撲滅の約束を守る」ことが国際ロータリー同様に最優先目標です。ロータリー財団のいろいろな活動プログラムをクラブ活性化のツールとして有効利用しましょう。その為にも会員の皆様の財団に対する寄付金には何分のご協力をよろしくお願い致します。

国際ロータリーは「2007~10年度の長期計画」を2007年6月の理事会で承認し、発表しておりますが、これはRIの原文では戦略的計画(Strategic Plan)となっております。各クラブの長期計画と目標はRIの長期計画を参考にクラブのCLPに反映されるようにご検討ください。

本年度の地区大会は12月12日(金)・13日(土)に、Simple, Smart, Speedyをモットーに大阪国際会議場で開催いたします。分科会は地区委員会の手作りによる会員参加型で行います。また本会議には国際的ソプラノ歌手、佐藤しのぶさんが、子供たちへの愛を込めて、国際奉仕活動のお話と共に、素晴らしい歌の数々を披露して頂くことになっております。ご家族の皆様とお友達をお誘い合わせの上、地区大会へ是非ご参加ください。

1.ローターアクト・クラブとは

1968年、ロータリー・クラブの公式プログラムとして承認されました。1968年3月にアメリカのシャーロッテRCがスポンサーとなりノースカロライナ大学でRACを作り、日本では同年6月川越RCが国際商科大学RACを、当地区では同年7月に大阪北RCが大阪北RACを作ったのが初めてです。

ローターアクト・クラブは、地域社会を基盤とするRACと大学を基盤とするRACの二種類あります。

世界的には150カ国以上の地域に約7,300のクラブを擁し、14万5000人規模の組織であります。

当地区では、全てが地域社会を基盤とするRACです。10・20人程度の小組織で単位をなし、20クラブ約280名の会員で活動しています。

会員は、地域社会のニーズのために奉仕をし、友情や仕事の輪を広げ、世界理解を深めようとする青年男女(18歳から30歳)です。

ローターアクトプログラムとは、健全な青年男女にロータリー精神を鼓舞し、ロータリーの指導後援の下に奉仕活動を行うことを奨励し、その活動を通じて地域社会における将来の指導者を育成するプログラムです。

2.ローターアクト・クラブの目的

ローターアクト・クラブの目的は、青年男女が個々の能力開発に当たって役立つ知識や技能を高め、それぞれの地域社会における物質的、あるいは社会的なニーズと取り組み、親睦と奉仕活動を通じて全世界の人々の間により良い信頼関係を推進するための機会を提供することにあります。

3.ローターアクト・クラブの活動

ローターアクト・クラブは、様々なプロジェクトや活動を組織しますが、共通していることは、専門知識開発、指導力の開発、奉仕プロジェクトの3つです。

4.なぜローターアクト・クラブを結成するのか

今日の若い人々は、明日の親となり、専門職務と事業に携わる指導者、地域社会の指導者となります。このプログラムにより、若い人々が責任感のある生産的な社会の一員となる為に必要な手段と技能を身に付けることができます。自分自身の力を試し、新しい技能を開発し、人生の中で直面する問題に立ち向かうよう促すときが来たのです。

5.大学RAC設立の目的

今、青少年を取り巻く経済的組織・社会が人生のよりどころになれない、家庭においても、核家族、携帯電話、コンビニ、ファーストフードの発展により、家に依存しなくてもいいようになりました。このような現在において、心のつながりを持てる第二のよりどころが必要に成っております。宗教、思想に全く関係なく純粋な仲間の集まりとして、ローターアクト・クラブはその存在があります。このローターアクト・クラブに多くの青年たちを集めることにより、ロータリーとしての青少年指導者養成が継続的に行われると思っています。ロータリープログラムの一つである青少年のリーダーを養成することは、結果的に多くの青少年を導くものであります。

また、大学は、毎年、入学・卒業があり、常に人が流れているため、魅力があれば自然と会員が集まり、また集まりやすい環境といえます。

ロータリーの未来への架け橋となってくれる青少年を養成する取り組みをしていく必要を感じております。

6.どのような大学RACを目指すのか（今後、大学側との調整が必要）

- ①大学のクラブというのではなく、ローターアクトとして、R I 第 2660 地区と連携が図れる。
- ②地区内でも特に吹田地域のニーズに応える活動ができる。
- ③提唱クラブである吹田江坂RCと連携のとれる活動ができる。
- ④R I 第 2660 地区で、はじめての大学RACゆえ、今後地区内で後続の大学RACが創立するための模範となる。（プログラム内容、会員数）